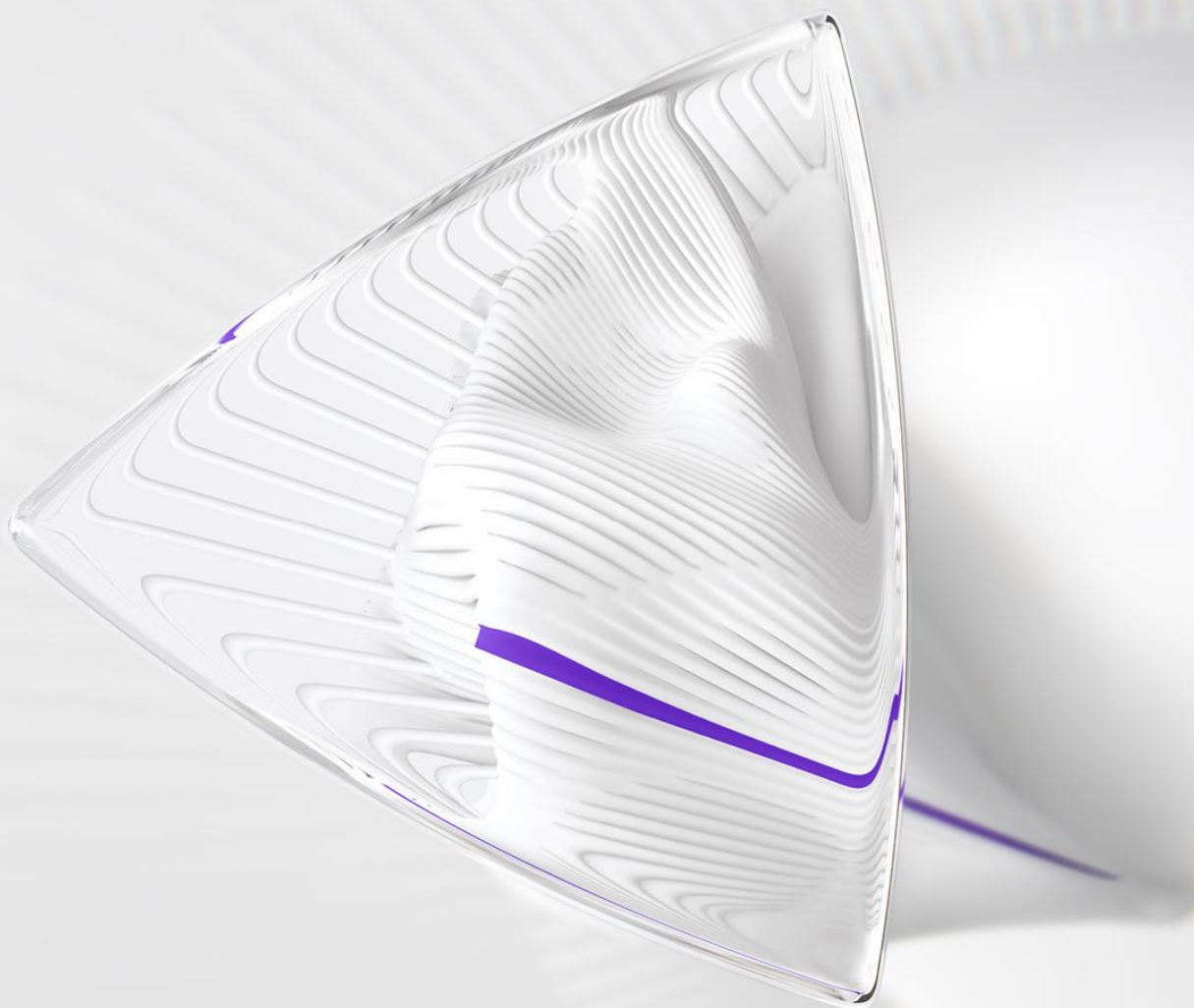




ScholarOne Manuscripts リリースノート

2024 年第 **4** 四半期リリース



概要

ScholarOne 製品チームはセキュリティ、パフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスの継続的な改善に積極的に取り組んでいます。以下では、このリリースにおけるプラットフォームとツールの主な改善、不具合の修正と最適化について説明します。

また、デフォルトの構成値に関する情報と各機能の構成手順も示します。新機能を利用するためには、管理者または ScholarOne の担当者による有効化が必要な場合があります。許可や構成に関するご質問は、発行者チームまたは ScholarOne にお問い合わせください。

影響を受けるすべてのユーザーにワークフローの変更を伝えることをお勧めします。

本リリースに記載された事項についてご不明な点がございましたら、ScholarOne 製品サポート (s1help@clarivate.com) までお問い合わせください。

内容

1. ロールの禁止
2. ScholarOne 開発者サイト
3. 主な問題修正と機能の最適化

重要情報

ScholarOne Next Generation

ScholarOne チームは、2024 年に、ScholarOne Next Generation プロジェクトの設計を終え、開発を進展させ、初期立ち上げの準備を進めていることを発表いたします。

ScholarOne NextGen は、複数年、複数段階にわたる再設計と近代化の試みであり、再設計された包括的なユーザーインターフェース、最新のテクノロジーサービス、AI を含む外部ツールやプラットフォームとの統合をより簡単にした、まったく新しい著者、査読者、編集者、管理者のエクスペリエンスを導入する予定です。弊社のチームは、2022 年から 2023 年にかけて、ユーザーへのインタビュー、フィードバックデータの収集、テクノロジーアップグレードの詳細な計画を実施しました。今年後半には、これらのプラットフォームの変更内容をユーザーに公開する予定です。

NextGen の進捗に伴い、弊社のチームは通常のリリース戦略を変更し、新しいプラットフォームの構築に全力を注ぎます。すなわち、2024 年第 1 四半期リリース以降、ScholarOne のリリースが少し変わることを意味します。当面の間は標準のリリースサイクルに従いますが、カスタム開発プロジェクトや、お客様からの不具合の修正のみが含まれます。今後は、より幅広いユーザーベース向けの新機能を NextGen で構築し、提供する予定です。

NextGen は、ScholarOne のユーザーペルソナを中心に、段階的に開始されます。新しい著者/投稿エクスペリエンスがデビューする予定です。これらのユーザー中心の各モジュールがローンチするにつれて、新機能や機能強化が通常よりもはるかに迅速にリリースされることが期待できます。NextGen の一環として進めているテクノロジーアーキテクチャーのアップグレードにより、プラットフォームの大幅な改善をこれまで以上に迅速にお届けできるようになります。

ぜひ弊社のメーリングリストにご登録ください（登録は弊社のリリースノート **Web** ページにあります）。今後数か月の進捗状況を定期的にお送りします。ご不明な点がございましたら、ScholarOne の通常の担当者までご連絡ください。

2024 年第 4 四半期リリース更新

1. 禁止人物リスト：ロールの禁止

ユーザー:

編集者

管理者

必要なアクション

要求に応じてご利用いただけます。アクセス方法については、担当のカスタマーサクセスマネージャーに問い合わせるか、サポートチケットをオープンしてください。

禁止人物リスト機能を使用するクライアントは、設定可能な値の部分一致または完全一致が発生した場合、投稿時の著者名でのスクリーニング、編集者および査読者アカウントでのスクリーニング、そして **EIC** およびスタッフ編集者へのアラート送信を行うことができます。以前は、著者のみを対象とする機能であったため、「禁止著者リスト (PAL) 」という名前でした。

この機能は ScholarOne Manuscripts と統合され、API を使用して（Amazon Web Services S3 を使用）禁止人物リスト（PPL）を取得できるようになっています。投稿に関わる人物がクライアントのリストに登録されている場合、ScholarOne からクライアントのスタッフメンバーへの警告が[論文詳細] 画面に表示されます。この機能は、デフォルトでは使用できません。PPL を使用するには、既存のウェブサービス/通知機能が当該の発行者に対して有効になっている必要があります。

クライアントは、レコードの作成、読み取り、更新、削除（CRUD）を行う権限を持っている必要があります。**CRUD** は、データベースまたは情報システム内のデータに対して実行できる基本操作を表します。この 4 つの操作は、データがアプリケーション内でどのように管理/操作されるかについての土台を形成します。

- 作成: この操作により、新しいデータまたはレコードをシステムまたはデータベースに追加することができます。
- 読み取り: システムからデータを取得またはフェッチすることを意味します。ユーザーまたはアプリケーションは、この操作を実行することで、既存のデータに変更を加えることなくそのデータを表示することができます。
- 更新: システム内の既存のデータの変更/編集に関わる操作です。
- 削除: このアクションにより、システムまたはデータベースからデータが削除されます。

禁止人物リストのデータベースには、「禁止ロール」というカテゴリが含まれます。データのリストは以下のカテゴリで構成されます。

名: テキストフィールド

姓: テキストフィールド

所属: テキストフィールド

E-Mail アドレス: テキストフィールド

禁止ロール（新規）: 「著者」、「編集者」、「査読者」を指定するためのドロップダウンリスト

開始日: カレンダーの日付を選択

終了日: カレンダーの日付を選択

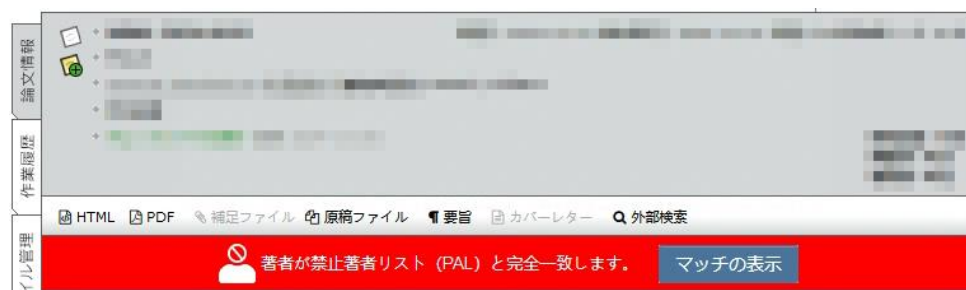
*1 人の人物について複数のロールが禁止された場合、クライアントはそれぞれのロールについて個別のエントリを入力する必要があります。

ScholarOne Manuscripts では、PPL に関して以下のロールの種別がサポートされています。

ロールの種別名	ロールの種別の説明
著者	著者
査読者	査読者
編集者	編集者

投稿の **著者** が PPL に登録されている場合は、ジャーナルスタッフに対して警告アラートが表示されます。ユーザーはこのアラートから、詳細な照合レポートにアクセスできます。

投稿の著者が 完全一致 で、PPL が有効になっている既存のサイトに論文を投稿した場合は、赤い背景のアラートが表示されます。



このアラートでは、ファイルへのリンクの下、「異常アクティビティ検出」アラートの上に [一致を表示] ボタンがあります。このアラートは、[査読者の選択] タブ、[論文情報] タブ、[作業履歴] タブも含めて、すべての論文投稿の詳細タブに表示されます。

一致の詳細の表示

[一致を表示] ボタン:

- 完全一致アラートにも部分一致アラートにも表示されます。
- このボタンをクリックすると、PPL との一致に関する照合レポートが開きます。

姓: PPL の姓が表示されます。部分一致の場合は、ラベルと値の両方とも赤で表示されます。

名: PPL の名が表示されます。部分一致の場合は、ラベルと値の両方とも赤で表示されます。

E-Mail: PPL の E-Mail アドレスが表示されます。完全一致の場合は、ラベルと値の両方とも赤で表示されます。

所属: PPL の所属が表示されます。

開始日: PPL の開始日が表示されます。

終了日: PPL の終了日が表示されます。

結果領域:

- 完全一致 - E-Mail アドレスが完全一致。
- 部分一致 - 最初のイニシャルと姓が一致。
- 説明テキスト: 入力は設定可能です。

検索履歴

禁止著者リスト (PAL) の照合

検出日: 2020-08-07 00:00 ET
サイト: ProQuest
論文 ID: 1011111111111111
タイトル: 1011111111111111

印刷

完全一致 — E-Mail アドレスの完全一致

TEST: The following user(s) have an email address that match an email on the Prohibited Author List.

(一致なし)

部分一致 — 最初のイニシャルおよび姓の一致

TEST: The following user(s) have name that appears to be a potential match for a name on the Prohibited Author List.

著者: 1011111111111111

1011111111111111

✦ PAL 照合

姓

1011111111111111

名

1011111111111111

E-Mail

1011111111111111

所属

1011111111111111

開始

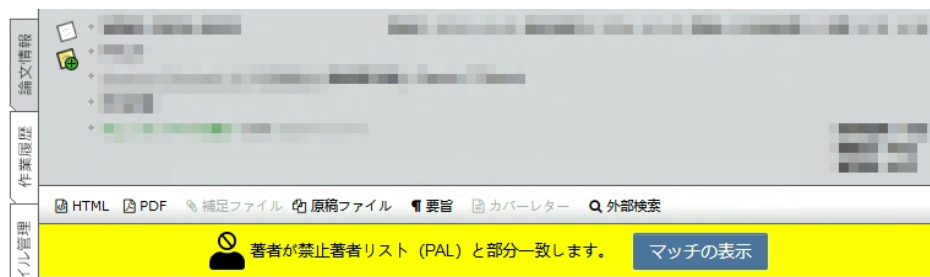
2020-8-7, 00:00 ET

終了

2026-1-19, 00:00 ET

同様に、投稿の著者が部分一致で、共著者が完全一致の場合にも、同じ赤色アラートが表示されます。

投稿の著者が部分一致の場合は、背景が黄色のアラートが、[一致を表示] ボタンとともに表示されます。



作業履歴

論文の1人以上の著者が禁止人物リストと一致した場合は、作業履歴エントリが作成されます。作業履歴には以下の内容が表示されます。

- レポートが標準の作業履歴形式（MS ID、日付など）で実行されたこと
- 完全一致の件数
- 部分一致の件数

通知

著者が禁止著者リストと一致したイベントについて、通知が作成されます。通知は以下の項目で構成されます。

○ メッセージ **UUID**

1. 説明: メッセージのユニバーサル一意識別子。
2. 種別: 文字列
3. とり得る値: システムが生成した値
4. デフォルト値の例: 9d7e3773-32ea-481e-a647-944bbe9c24a9

○ 通知サービスのバージョン

1. 説明: エンドポイントが受信するように設定されている通知サービスのバージョン
2. 種別: 文字列
3. とり得る値: V1
4. デフォルト値の例: V1

○ サイト名

1. 説明: サイトの省略名。この省略名は、雑誌、学会、発行者、またはファミリーの略称または短縮した名前です。
2. 種別: 文字列
3. とり得る値: サイトの省略名
4. デフォルト値の例: test

○ 雑誌名

1. 説明: 掲載号の作成時に定義された雑誌に関連付けられた完全な名前。
2. 種別: 文字列
3. とり得る値:
4. デフォルト値の例: Test Journal

○ イベントの日付

1. 説明: イベントが発生した日時（協定世界時）。
2. 種別: 日付
3. とり得る値:
4. デフォルト値の例: 2014-11-05T10:34:02Z

○ 登録 ID

1. 説明: それぞれの登録に対してシステムが生成した ID。
2. 種別: 数値（整数）
3. とり得る値: システムが生成した値
4. デフォルト値の例: 80

○ 登録名

1. 説明: メッセージをトリガーした登録の名前。
2. 種別: 文字列
3. とり得る値: 設定でユーザーが入力した値
4. デフォルト値の例: 取り下げ論文

○ 登録種別

1. 説明: 登録の種別を示すシステムラベル。使用可能な登録種別は、採否結果、タスクのステータスの変更、システムイベントです。
2. 種別: 文字列
3. とり得る値: DECISION、TASK_STATUS_CHANGE、SYSTEM_EVENT
4. デフォルト値の例: DECISION

○ 文書 ID

1. 説明: 文書の一意の識別子。ScholarOne Manuscripts システム内の論文の各修正版に割り当てられた一意の識別子です。ScholarOne の内部では、この識別子は数値です。
2. 種別: 数値（整数）
3. とり得る値: システムが生成した値
4. デフォルト値の例: 16346023

E-Mail テンプレート名: 禁止著者リスト (PAL) の照合

E-Mail テンプレートは、[E-Mail]>[システム E-Mail]>[その他のイベントによる E-Mail]で使用できます。

この E-Mail は以下の場合に送信されます。

- PPL 機能が設定されている
- PPL との一致が存在する

ヒント: この E-Mail は、1 人以上の著者が禁止著者リストと完全一致または部分一致したときにトリガーされます。

必須 ? 禁止著者リスト (PAL) の照合 - テンプレートの追加					
Manuscript has matches with PAL	☐	☐	☒		☐

E-Mail タグ ##PAL_SUMMARY##: これは、禁止著者リスト (PAL) と一致した著者の概要です。プライバシー保護のため、タグ内に名前は表示されません。

解決されたコピー:

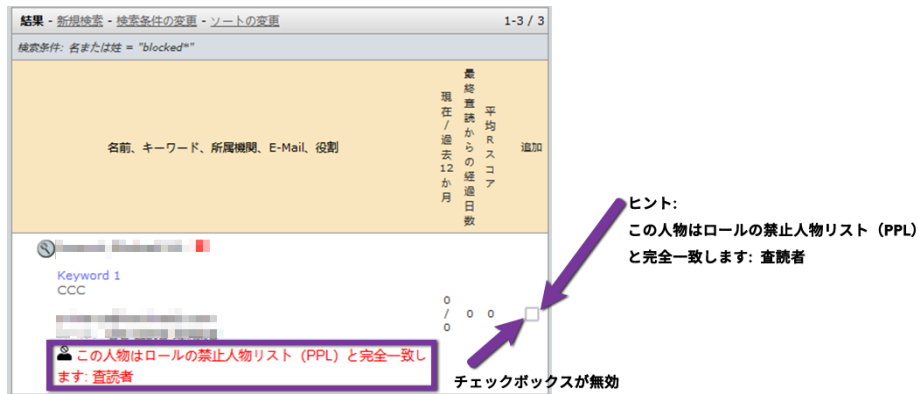
- 完全一致 #
- 部分一致 #
- レポートの表示: このボタンをクリックすると、PAL との一致に関するレポートが表示されます。

査読者の検索

- 査読者の検索は、簡易検索、関連論文検索、自動提案、または詳細検索から開始できますが、システムはその実行の際に、禁止ユーザー (PPL) のレコードが収められた PPL データベースに従って結果を処理します。

PPL に登録されている査読者の E-Mail アドレスとロールの両方に基づいたハードマッチ、が検索結果に含まれている場合、その査読者のレコードに視覚的な警告が表示されます。

この警告には、その査読者が PPL リストに登録されていることをユーザーに知らせる短いメッセージが付属します。この場合、その査読者を文書に追加することはできず、その査読者を追加するためのチェックボックスは無効になります。さらに、無効になったチェックボックスの上に、その査読者を追加できないことを知らせるヒントが表示されます。



ハードマッチが見つかった査読者レコードについて詳細情報ポップアップが開かれた場合、[リストに追加] ボタンは非表示になり、その人物は文書に追加できません。

名前（E-Mail アドレスではなく）とロールに基づいたソフトマッチが見つかった場合も、視覚的な警告が表示されるとともに、その査読者が PPL リストに登録されていることを知らせるメッセージが表示されます。



- 文書の [査読者検索] セクションを使用中に、システムが査読者を推薦し、PPL データからハードマッチ（E-Mail アドレスとロール）を検出した場合、推薦された査読者のレコードにも、視覚的な警告と、その査読者が PPL リストに登録されていることを知らせるメッセージが表示されます。前のケースと同様に、推薦されたこの査読者は文書に追加できず、[追加] ボタンも表示されません。

Web of Science に掲載された検証済みの査読: 37
 Web of Science の記事: 32

適切な作業:

- A 7.2-27.3 Ghz Cmos Lna with 3.51 +/- 0.21 Db Noise Figure Using Multistage Noise Matching Technique [詳細の表示](#)
- A 21-41 Ghz Compact Wideband Low-noise Amplifier Based on Transformer-feedback Technique in 65-nm Cmos [詳細の表示](#)
- A Millimeter-wave Variable-gain Power Amplifier with $S_{p_{\{1,db\}}}$ Improvement Technique in 65-nm Cmos [詳細の表示](#)

この人物はロールの禁止人物リスト (PPL) と完全一致します: 査読者

1 / 1

[追加] ボタンが非表示

名前とロールに基づいたソフトマッチの場合も、視覚的な警告と、査読者が PPL リストに登録されていることを知らせるメッセージが表示されます。

- ScholarOne Reviewer Recommender** システムで査読者検索を実行した際に、PPL データからの名前とロールに基づいたソフトマッチが検出されると、視覚的な警告と、その査読者が PPL リストに登録されていることを知らせるメッセージがトリガーされます。ハードマッチの場合、推薦された査読者は同様にフラグ付けされて、文書に追加できなくなり、インターフェースには [追加] ボタンが表示されません。同様に、その査読者について詳細情報ポップアップが開かれた場合は、PPL による制限に従い [リストに追加] ボタンが非表示になります。この表示は、査読者検索の結果の場合と同じです。

副編集者の検索とドロップダウンリストからの割り当て

- 簡易検索、関連論文検索、自動提案、または詳細検索を使用した副編集者 (AE) の検索の場合も、E-Mail アドレスとロールに基づいたハードマッチが検出されると、その編集者のレコードに、視覚的な警告と、その編集者が PPL リストに登録されていることを知らせる関連メッセージが表示されます。その編集者を文書に追加することはできず、[追加] ボタンも表示されなくなります。

検索結果

1 検索レコード数
 検索条件: 名または姓 = "Blocked-XA"

検索条件の変更 | 新規検索 1-1 / 1

名前	所属機関名	現在 過去 12 か月	リストに追加
Account, Blocked-XA. 詳細の表示 再検索 再検索	CCC	1	[追加] ボタンが非表示

この人物はロールの禁止人物リスト (PPL) と完全一致します: 副編集者

副編集者 リスト

副編集者 リスト - 副編集者を選択

担当者を選出してください。

名前とロールに基づいたソフトマッチが検索結果として返された場合は、前述と同様の警告と、その編集者が PPL リストに登録されていることを知らせるメッセージが表示されます。

The screenshot shows a search results interface. On the left, there's a sidebar with a '副編集者 リスト' (Co-editor List) section. The main area is titled '検索結果' (Search Results) and shows a search for 'Blocked-XD'. A table lists search results, with one entry highlighted: 'Account, Blocked-XD.' with a warning message: 'この人物はロールの禁止人物リスト (PPL) と部分一致します: 副編集者' (This person partially matches the role's prohibited person list (PPL): Co-editor). A purple box highlights this warning. To the right, a button '[追加] ボタンを表示' (Show Add Button) is shown with a purple arrow pointing to a '+' icon in the table's 'リストに追加' (Add to List) column.

- ユーザーがドロップダウンから編集者を選択して文書に追加できるようにシステムで設定されている場合、E-Mail アドレスとロールに基づいたハードマッチが検出されると、その編集者はドロップダウンで選択できなくなります。視覚的な警告とメッセージによって、その編集者が PPL リストのデータと完全一致していることが通知されます。

The screenshot shows a dropdown menu for selecting a co-editor. The dropdown is open, showing a list of options. One option, 'A (1) PPL 完全一致' (A (1) PPL Full Match), is highlighted with a purple box. A purple arrow points to this option with the text '選択不可' (Selection Not Possible) below it. The dropdown is part of a larger form with various fields and buttons.

ドロップダウン内の編集者がソフトマッチしている場合、その編集者のレコードにも警告が表示され、さらに、その編集者が PPL リストのデータと部分一致していることを知らせるヒントが表示されます。

HTML PDF 補足ファイル 原稿ファイル 要旨 カバーレター 外部検索

副編集者 リスト

順番	名前	ステータス	履歴	削除
リストから選択:	副編集者を選択 (現在の担当数)	副編集者を選択 (現在の担当数)	☐ 詳細の表示 ☒ アサイン	
	A	D (1) PPL 部分一致		

メモ
タイトル
メモは

1 / 4

削除
メモを追加
トップ

- 検索結果にハードマッチとソフトマッチの両方が含まれている場合、システムはハードマッチ（E-Mail アドレスに基づく）を優先し、このレコードがソフトマッチ（名前に基づく）よりも優先されます。したがって、その編集者または査読者は文書に追加できなくなります。

API

- ReadPAL GET リクエストを Clarivate のシステムに送信します。このリクエストは、clientGUID、サイトの省略名、ロールの種別を含んでいる必要があります。そのうち clientGUID はクライアントが定義する値であり、任意の値を指定できますが、サイト内で一意である必要があります（例: user_cc_2234355）。
- リクエストへの応答で createToken が提供されます。指定された clientGUID がすでに存在する場合は、updateToken が返されます。この応答では configID は提供されません。テストが成功したら、サイトの configID の完全なリストを取得するためのリクエストを送信します。
- その後、取得した情報を使って POST コールを実行し、レコードの作成（clientGUID が存在しない場合）または更新（clientGUID がすでに存在する場合）を行います。

1.読み取り

GET リクエスト:

https://mc-beta-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v3/pal/read?site_name=TEST&clientGUID=1_11111111&roleName=Reviewer

2.作成

POST リクエスト:

https://mc-beta-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v3/pal/create?site_name=TEST

リクエストの本体:

```
1. {
2.   "input": {
3.     "clientGUID": "1_11111111",
4.     "firstName": "Paladin8",
5.     "lastName": "test",
6.     "startDate": "2022-08-07",
7.     "endDate": "2024/01/19",
8.     "configId": "4801",
9.     "createToken":
"xik_wufhoksc8ocX5AgsyprDiEqZHN69nx4bWptFknCEwcKyz5kwQw2Q3dpyqaNsLDBm45Cav9k",
10.    "emailAddress": "user@strongaffiliation.com",
11.    "affiliation": "NASA",
12.    "roleType": "REPORT_VIEWER"
13.  }
14. }
```

3.更新

POST リクエスト:

https://mc-beta-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v3/pal/update?site_name=TEST

リクエストの本体:

```
1.{
2.  "input": {
3.    "clientGUID": "1_111111111",
4.    "firstName": "Paladin8",
5.    "lastName": "test",
6.    "startDate": "2022-08-07",
7.    "endDate": "2024/01/19",
8.    "configId": "4801",
9.    "updateToken": "xik_wufhoksc8ocX5Agsy",
10.   "emailAddress": "user@strongaffiliation.com",
11.   "affiliation": "NASA",
12.   "roleType": "REPORT_VIEWER"
13.  }
14.}
```

4.削除

POST リクエスト:

https://mc-beta-api.manuscriptcentral.com/api/s1m/v3/pal/delete?site_name=TEST

リクエストの本体:

```
1.{
2.  "input": {
3.    "clientGUID": "1_111111111",
4.    "configId": "1234567",
5.  }
6.}
```

API を介して **PPL** レコードの削除リクエストが実行されると、そのレコードに関するハード/ソフトマッチレポートもシステムから削除されます。その後の検索では、PPL から削除された査読者または編集者に対して無効化の条件が適用されなくなるため、彼らを制限なしで文書に追加できるようになります。

エラーコード付きエラーリスト

1. roleName
 - エラーコード: "**WVLD-11289**" ロールの種別が長すぎます
 - エラーコード: "**WVLD-11288**" 入力したロールの種別は存在しません。
2. 指定された条件で禁止ロール種別が複数見つかりました。更新/削除する禁止ロール種別を指定してください。 - エラーコード "**WVLD-11373**"

2.ScholarOne の統合と **API** マニュアルをホストすることになる

ScholarOne 開発者サイト。このサイトには

<https://developer.scholarone.com/> からアクセスできます。

3.主な問題修正と機能の最適化

- 管理者が[この文書は投稿できます]リンクを使って論文を投稿した場合、転送された論文について投稿確認の E-Mail/通知がトリガーされない
- 特殊文字の問題が原因で、XML ファイルが空白のままエクスポートされる
- [CRediT 著者貢献度を提供する]に必須ではないのにアスタリスクが付いている
- 自動辞退タイマーが、特定の時刻に返答した査読者を除外しない
- [査読者への依頼] タスクに関連付けられていないロールに対して、[全員に依頼] ボタンが表示されて使用可能になっている
- 差し戻された査読が、採否の決定時のステータスは「差し戻し」になっているのに採否通知に取り込まれる
- カスタム質問構成詳細表示ページのパフォーマンスが向上

投稿の統合 / API

- 著者が外部システムで修正または再投稿を開始する際に、修正版または再投稿を作成できるよう S1M が採否通知タグを無効にしない
- 差し替えの取り込み後に、元の投稿と修正投稿の両方にメモが表示される
- 文書の差し戻しと修正版の取り込みによる差し替えの後、カスタム論文フラグが論文に複数回表示される
- getReviewerInfoFull が査読者の間違った敬称を取り込む

備考: ScholarOne では、リリースとリリースの間に数多くのパッチやホットフィックスを配布し、ユーザーにプラットフォームの継続的な改善を提供しています。これらの多くは、プロセスを最適化するために内部のチームが行っているもので、ワークフローには影響しません。これらの変更についてご質問がある場合は、サポートにお問い合わせください。

クラリベイトについて

Clarivate™ は、イノベーションを加速する信頼性の高い知見や分析を提供する、世界的リーディングカンパニーです。当社の使命は、新しいアイデアから人生を変えるような発明を生む時間を短縮するための、実用的な情報とインサイトを提供することにより、お客様が抱える難題を解決できるよう支援をすることです。サイエンスや知的財産の分野において、基盤となる研究やアイデアから保護、そして商業化に至るまで、イノベーションのライフサイクル全体をカバーする深い専門知識を備えたサブスクリプションおよびテクノロジーベースのソリューションを提供しています。詳細については、[**clarivate.com/ja**](https://clarivate.com/ja) をご覧ください。

お問合せ:

+1 215 386 0100 (米国)

+44 (0) 20 7433 4000 (ヨーロッパ)

[**clarivate.com/ja**](https://clarivate.com/ja)

© 2024 ClarivateClarivate とそのロゴ、およびここで使用されている他のすべての商標は、それぞれの所有者の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。